



Smiley room

ロードマップ



講師紹介



「カード遊びで英語を楽しく身につけよう」
を理念に英語教室を開講致しました
齊藤有希子です。

講師歴6年、外大卒(留学経験有)、3児の母。
英検準1級、親業訓練実践者、
フォニックスからBBカードで
文法まで指導します。



THE ROADMAP OF SMILEY KIDS

当教室で学んだら、どうなるか?を解説します。
子ども達が最終的にどのようなようになって卒業するかを
説明しています。

スタート

まず口真似!
+
フォニックス
で
英単語の読み書きが
できるようになる

Seed



BBカードの64英文
をリズムよく
言える
+
自分の事を
英語で表現でし始める

Sprout



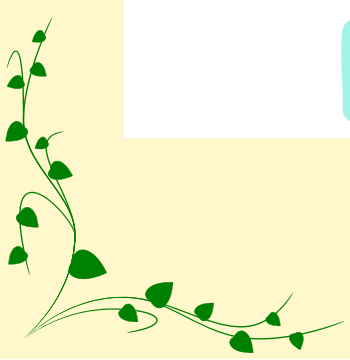
今まで使っていた
英文を
文法的にも理解し
使いこなす
+
自分について話せる

Flower



BBカード64英文
を言い換えて
言える
+
英文が書ける

Plant





当教室のレッスン

当教室では
BBカードをメインに
カードゲームで
英語を楽しく
身につけます。

ただし、
より効率的に学ぶ為
フォニックス学習を
並行受講することを
推奨しています。



フォニックス

話し言葉や英語の音も
わかってきたら英語の文字
も読み書きできるように
フォニックスを学びます

【オススメフォニックス教材】

《対面》

「ジョリーフォニックス」
又は「ライモーフォニックス」

《オンライン》

「韓国式フォニックス」

短期間で学ぶなら「韓国式フォニックス」がオススメです・
通常2年～3年かかるフォニックス学習を1年で学べます



BBカードとは



BBカードについて少しご説明いたします。

64枚の楽しい**絵カード**と64枚の韻を踏んで覚えやすい**字カード**からなる大人気のゲームカードです。字カードの英文は英検3級程度の文法を網羅していて、口にしやすいリズムミカルな文ばかりです。遊びながら英語のリズムが身につくだけでなく、文法、会話、作文の指導もできるマルチ教材です。

トランプのように遊びながら、英文を常に口ずさみます。この口ずさむことがとても大切で、この繰り返しの反復が刷り込みとなり、無意識領域までいけば、その英文を言い換えなどして使い込んでいきます。これが英語の土台となって自己表現力に繋がります。遊んでいるだけで英語力が身につくというのはこの事です！

① Seed



BBカードの64の英文を
とにかく口真似します。
これを繰り返しているとなん
だんだん言えるようになってきます。
そして何より英語のリズムで言えるのが
大切です。

そして、もう一つ大切なフォニックスを
学びます。
これにより英単語の読み書きができる
ようになります。この学びによって、
文字が読めるようになるので、全部暗記
しなくても、ある程度スペルも
わかるようになります。



② Sprout



BBカードで遊びながら、
繰り返し

BBカードの64の英文を
リズムよく言うことで
カードの絵と英文が一致してきて
言っている英文の意味を
理解していきます。

そして、
カードのキャラクターを
自分に置き換えて、
自分だったら,,,!?
とイメージして言い換えていきます。
これが、自分について話せることに
繋がります。



③ Plant



BBカードの64の英文をスラスラ
言えるので、どんどん言い換えをします。
例えば、主語換えです。

〇〇が～⇒私、あなた、彼が～というように。
これにより、

代名詞を使って3単現のsもわかってきます。
また時制も変えていきます。

～します(いつも)

～しました(以前に)

～しているところです(まさに今)など

また、自分のことについても
数行の文を続けて言える⇒書ける
ようになります。

こうして英語日記にもチャレンジできます。



④ Flower



グラマー(文法)を学ぶと
今まで使っていた
BBカードの英文が
どうしてこのように構成されているのか
理解します。

これにより、英作文に
理解できた英語の表現を
使いこなせるようになります。

自分についても、
より正確に表現できるよう
になります。

英語で話す、書くなどのアウトプットに
自信を持って発信できます。



BBカードで学んだ子たち

BBカードを使うと、、、

・中2の男子

成績表は5段階評価でほとんど1か2という生徒で、英語だけは3。そんな子が英検3級は合格。理由はBBカード。日本語で説明できなくても、答えられちゃう。それは繰り返しの反復練習が語感を育てて、いつの間にか英語脳を作ってしまうから。

→できるが先、知るが後。

・大学1回生の女子

大学の入試の時、BBカードのお陰でライティングに困らなかった。普段通り自分の言葉で、書けば良いだけだった。また、中学生くらいから、文法を習い始めたが、なんで今までこうして言っていたのか、BBカードの構文の意味がすんなり納得できた。

→専門的な言葉を知らなくても使えるので、後で習って、一致するだけ。

